

タイトル

1. 廃棄物管理改善に向けた資金調達
(1) アフリカ廃棄物管理アウトルックの要旨と優良事例

発表者

国連環境計画アフリカ事務所 化学物質・廃棄物 地域調整官 Abdouraman Bary
国連環境計画アフリカ事務所 広報担当官 Mohamed Atani

発表者は、UNEPが作成した「アフリカ廃棄物管理アウトルック」に関して、その主な所見を以下のとおり紹介した。

要約

- 1) 平均して、アフリカの都市廃棄物の57%は生分解性有機廃棄物であり、その大部分は廃棄されている。平均廃棄物収集率はわずか55%であるため、ほとんどのアフリカ諸国における収集サービスは不十分と言える。アフリカで発生する廃棄物の90%は埋立処分されるが、通常は管理されていないダンプサイトに投棄されている。
- 2) アフリカで発生した廃棄物のうち、リサイクルされるのはわずか4%である。多くの場合、インフォーマルセクターによってリサイクルされている。
- 3) 消費パターンの変更や脆弱な収集システムにより、廃棄物が環境に溢れている。都市部での不適切な廃棄物の投棄は、病気、洪水、環境汚染を引き起こす。
- 4) ごみの野焼きは人々の健康に重大な影響を与える大気汚染を引き起こす。アフリカは、しばしば先進国からの廃棄物、特に有害廃棄物の投棄地となっている。
- 5) 昨年、アフリカの埋立地の崩壊で130人以上が死亡した。
- 6) 廃棄物の投棄により、ポリマー、繊維、金属などの有用資源が失われている。インフォーマルセクターはアフリカ全域で活発に活動している。彼らをシステムに統合することが、資源の有効活用にとって重要である。

その後、発表者は、小規模、ボトムアップ、コミュニティアプローチ、また大規模かつ先進的な処理技術などを含むアフリカの社会的・技術的革新のいくつかの事例を紹介した。小規模革新とは、環境にやさしい技術を使用し、廃棄物管理問題の解決に貢献する中小企業のイニシアチブである。革新的な起業家活動の一部は若い女性によって開始され、雇用を創出し、環境問題を解決するのに役立っている。例としては、ブルキナファソ、コートジボワール、南アフリカでのリサイクル(廃タイヤの家具への転換、アルミニウムの使用、プラスチックのリサイクル)にかかる事業、ナイジェリアでの低コストで環境にやさしい自転車で行われる廃棄物収集サービス、および南アフリカの有機廃棄物からのタンパク質の商業的回収、等である。

質疑応答では、小規模な革新的イニシアチブをどのようにスケールアップするかについて参加者から質問が提起された。それに対し、発表者は、小規模なイニシアチブの多くが最終的に重要な影響を生み出す可能性があるため小さなイニシアチブを見過ごすことはできないこと、それらをスケールアップするには、民間部門の資金を活用することが重要であると回答した。UNEPは、このために定期的に民間部門とのミーティングを開催している、と付け加えた。